

X32 Firmware Ver.4.0 リリースノート

●新機能

- ・ポイント to ポイントでルーティング可能なユーザールーティング機能を追加しました。

(4 input&6 output banks:32in/48out)

- ・ DP48/HUB4 をサポートしました。
- ・プリセットライブラリを備えた DP48 用セットアップページを追加しました。
- ・ Stereo Link している BUS へ SEND をする際、オプションで LR pan に従うように設定できるようになりました。
- ・フルバックアップの Export/Restore 機能を追加しました。
- ・チャンネル名を設定する際に候補の提案や履歴の参照、新しいキーボードレイアウトを設定することが可能になりました。
- ・ X32 Core : Show の表示機能を追加しました。
- ・ RTA bar のカラーオプション機能を追加しました。

●変更点

- ・ GUI デザインがダーク調のデザインになりました。
- ・ チャンネルアイコンをアップデートしました。
- ・ フェーダートラックに色が付きました。
- ・ エンコーダーを使用してエラー/警告ポップアップを閉じることができるようになりました。
- ・ ファームウェアの更新前にバックアップを実行するポップアップを表示することができるようになりました。

* Channel について

- ・ Config : ローカットフィルターカーブのプレビューされます。
- ・ Config/Sends : Dynamic Signal のフローが表示されるようになりました。
- ・ EQ : 設定不可能なパラメーターを非表示にできます。
- ・ Utility : コピーされたチャンネルの概要を表示します。

* Meters について

- ・ チャンネルインジゲーターがカラーになりました。

* Routing について

- ・ 機能別にタブを再編成し、グループ化しました。
- ・ 出力を割り当てるショートカット付きの Output patch のオーバービューテーブル
- ・ Next ボタンで List をスクロールできます。
- ・ iQ setup : リスト動作の改善

* Library について

- ・ LOAD エンコーダーを使用したスクロールは適切なプリセットのみを選択します。

* Effects について

- ・フィードバックループが作成される際に警告メッセージが表示されます。(ハードウェアエンコーダーを使用した際のみ)

- ・Utility : エフェクカテゴリごとに FX Rack が再編成されました。

- ・Utility : コピーされたエフェクトのプレビューができます。

- ・Effects から Library に移動するとアクティブな FX Slot が選択されます。

* Setup について

- ・Config : デフォルト Bus Config の追加 (all pre/all post)

- ・Name/Icon : チャンネル名の提案など

* Monitor について

- ・Talkback : ディスクリプションのプレビュー

- ・Lamp の設定はモニター画面の新しいタブに移動しました (Lamp が利用可能な場合)

* Scenes について

- ・Cues : キュー番号 500.9.9 が利用可能になりました。

- ・Snippets/Safes : ヘッダーを利用して列にある全ての要素を選択可能になりました。

* Mute Group について

- ・画面上でボタンがより見やすくなりました。